

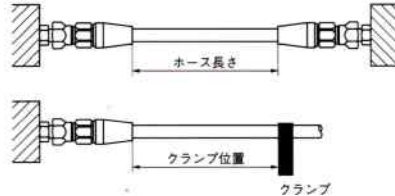
配管上の注意事項

1. カタログ記載のホース長さおよびクランプ位置を守ってください。

キャンパカは内圧により内部部品がホースと共に移動しアセンブリが行われる構造です。そのため、移動を妨げると、適正なアセンブリが行われず内部流体の「漏れ」や継手の「抜け」の原因となり危険です。

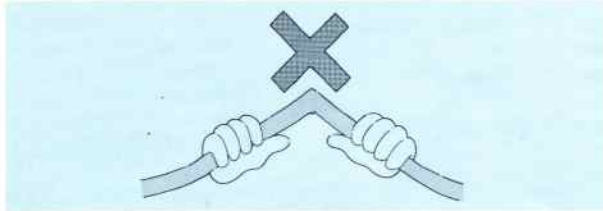
配管時のホース長さおよびクランプ位置は、下記表に従ってください。

ホース品番	ホース長さおよびクランプ位置
1000-04 1400-04	350mm 以上
1000-06 1400-06	400mm 以上
1000-08	500mm 以上



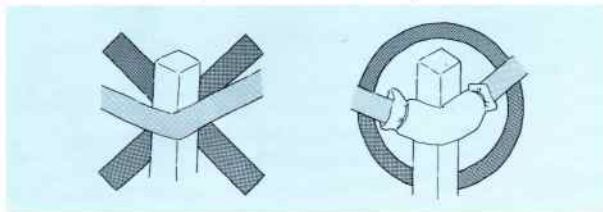
2. ホースを折らないで（キンクさせないで）ください。

ホース本体（特に継手金具付近）に無理な曲りを与えないよう配慮してください。無理に曲げて、ホースが折れてしまうと、折れた部分で「破裂」し危険です。一度折れたホースは、変形が残留しておりますので、使用しないでください。



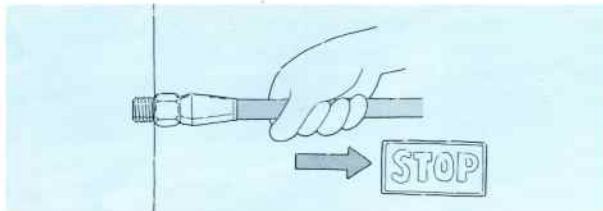
3. ホースアセンブリを外傷から守ってください。

ホースアセンブリが、他の物体（機械、設備など）に接触する可能性がある場合、外傷からホースの「破裂」や継手の「破損」にいたる恐れがあり危険です。



4. ホースを引張らないでください。

加圧前に引張った場合、適正な加締め力が得られず、継手の「抜け」にいたる恐れがあり危険です。加圧後に引張った場合、継手の取付部などに応力が集中し、「抜け」「破損」などにいたる恐れがあり危険です。



5. 加圧後はホースアセンブリをねじらないでください。

ねじれがかかった場合、ホースの内部構造が変形し、「破裂」にいたり危険です。

